



玉城 勇 議員

遊休地解消に 助成金を

答 耕作放棄地対策協議会で検討する

問 遊休地解消に助成金の増額が必要と思われる土地がある。

例えば、10年以上も放置されている畑等に対して、農地として使用できる状況にするための予算措置ができないか。

副町長 遊休農地解消に対しては坪当たり50円、深耕に対しては坪当たり25円の補助額で、遊休農地の解消を推進している。10年以上放置された耕作地に対しては、耕作放棄地対策協議会を通し現場に応じた遊休地解消を実施している。

問 耕作放棄地対策協議会のなかで新しい制度が出てきている。これが活用できる助成金が生まれてくるのか非常に気になる。具体的にどうか。

経済建設部長 大きな木々が生えて大きな費用がかかる場合は、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金3分の2補助の事業を活用できる。ただし、いろいろな条件があるので、耕作放棄地対策協議会が主体となっ

て遊休地の解消を実施している。

南風原ダムの管理は

問 南風原ダムの景観を良くするために、周辺及び斜面地の草刈りが必要である。計画はあるか。

副町長 ダム周辺、町農道の草刈りについては、現状巡回により適宜行っている。ダム本体の草刈り等は行っていない。農業施設の維持管理については、受益者、農業者を交えて行うのが最適と考えている。農業に関する維持管理の共同活動を支援する補助事業がある。当該事業での対応が可能か県及び地域と調整する。

問 土地改良区内の水の臭気が発生する時期がある。臭くのり状のものが出てくることがある。原因は、ファームポンド内なのか吸い込み口なのか、調査・改良について確認することはできないか。



草木が繁茂している南風原ダム

副町長 宮城農業用排水の平成25年度調査によると、臭気は水質の悪化が原因と考えている。水質維持のためのダムの管理方法等を検討している。